

# 和

69  
2024

Osaka City General Hospital



- 医者のホンネ。#06 副院長兼集中治療部長、救命救急部担当部長 林下 浩士
- がん患者さんとそのご家族の方へ
- 新診療科部長紹介
- Q&A「認知症ケアサポートチーム」
- お薬豆知識「薬の使用期限について」
- 連携登録医のご紹介
- 迷ったらコレ！簡単レシピ「豆腐のきのこあんかけ」

● 都島区マスコットキャラクター、都希（とっきー）が看護の日に来てくれました。



# がん患者さんとそのご家族の方へ

大阪市立総合医療センターは、厚生労働省より「地域がん診療連携拠点病院」「小児がん拠点病院」「がんゲノム医療連携病院」に指定されています。

※がんに関する情報やイベントについては、院内掲示、パンフレットラック、ホームページをご覧ください。

## がんサロンに参加してみませんか？

当院では、月2回がんサロンを開催しています。10月からは、会場を新たに開催します。がんサロンは、がん患者さんやご家族が互いの体験や悩みや日々の疑問を共有する場として、自由にご利用いただけます。また、ピア・サポーター(がん経験者)が参加し、一緒にお話しを伺います。心のセルフケア、運動療法教室、栄養教室、口腔ケア教室、塗り絵などのイベントも同時開催しています。当院以外の患者さんやご家族もご参加いただけます。是非ご参加ください。

がんサロン開催日 ◆会場 さくらホールロビー等 ◆時間 10:30~12:00 (☆同時開催イベントは10:30~11:00)					
10月	7(月)	25(金) ☆運動療法教室	R7年1月	6(月) ☆大人の塗り絵	24(金)
11月	11(月) ☆口腔ケア教室	22(金)	2月	10(月) ☆運動療法教室	28(金)
12月	9(月) ☆栄養教室	27(金)	3月	10(月)	28(金) ☆心のセルフケア

※その他、当院で治療中のがん患者さんを対象にしたがんケアヨガを開催しています。詳細は、ホームページ・院内案内等をご確認ください。

## ピアサポート相談室「はぐ」で ご自身の体験や気持ちを話してみませんか？

ピアサポート相談室「はぐ」は、医療相談ではありません。医療に関する総合的な相談は、がん相談支援センターをご利用ください。

ピアサポート相談室「はぐ」では、がんピア・サポーター(※)が、がん患者さんやご家族のお話を個別に伺います。話すことで、気持ちの整理がつくことがあります。大人数では話しにくい事、今の気持ちを聞いて欲しいなど、気軽にご利用ください。当院のがん患者さん・ご家族ならどなたでも利用可能です！

開催日：第4金曜日 (※10月はお休みします)  
開催時間：13:20~15:30 (1人40分×3枠)  
会場：1階 がん相談支援センター  
☆当日、相談室前に設置の整理券をお取りください。



※ **がんピア・サポーターとは**：がんを体験し、その経験を活かして同じ境遇にある仲間をサポートする人のことです。

## がん相談支援センターにご相談ください。

電話：06-6929-3632(直通)  
窓口：病院 1階 総合医療相談窓口  
受付時間：9:00~16:00  
相談は無料、匿名の相談も可能です。

がん相談支援センター →  
(当院ホームページ)



### 【主な相談内容】

- がんに関する不安や精神的苦痛
- 療養生活
- 学校や仕事との両立
- 医療費、生活費、社会保障制度
- がんの治療や副作用
- がんゲノム医療
- アピアランスケア(※1)
- 受診方法
- 妊よう性温存(※2)
- がんの予防や健診
- セカンドオピニオン
- ホスピス・緩和ケア
- がんサロン・患者会

※1 アピアランスケア：治療にともなう外見の変化に対するサポート  
※2 妊よう性温存：将来子どもを授かる可能性を残すための治療



冊子「がんと診断されたあなたに知ってほしいこと」 →  
(がん情報サービス)



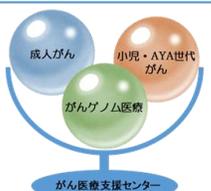
がん患者さん・ご家族への支援について →  
(当院ホームページ)



がんに関するWeb公開講座 →  
(当院ホームページ)



全ての年代のがん患者・家族



がん医療支援センターは、すべての年代のがん患者さんとそのご家族を支援します。



# 新 診療科部長紹介



令和6年度4月に部長に就任された先生方です。よろしくお願いします！



## ● 循環器内科部長

あべ ゆきお

### 阿部 幸雄

2024年4月に大阪市立総合医療センター循環器内科部長に就任した阿部幸雄です。1996年に大阪公立大学医学部を卒業しました。当院では、2001年に赴任した後、2年間の米国留学を挟んではいますが21年間働いています。当循環器内科では、開院当初から冠動脈疾患に対するカテーテル治療に力を入れてきましたが、近年盛んになってきた弁膜症に対するカテーテル治療もどんどん取り入れています。不整脈分野では、より自然な伝導を目指す左脚領域ペーシングというペースメーカー・リードの留置法を先駆けて行ってきました。心不全診療では大阪心不全地域医療連の会（Osaka Stops HEart Failure、OSHEF＝オーシェフと読みます）を牽引すべく頑張っています。弁膜症や心不全の診療で必須となる心エコー図検査は私の専門分野でもあります。手前味噌になりますが、心房性機能性僧帽弁逆流という弁膜症の臨床・研究に関しては世界をリードしてきたといっても過言ではありません。地域の患者さんおよび医療機関のニーズにしっかり応えることができるように間口の広い循環器内科を目指して頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



## ● 放射線治療科部長

いしい けんたろう

### 石井 健太郎

本年4月に放射線治療科部長に着任いたしました石井健太郎と申します。前任地は大阪市の多根総合病院で、IMRT（強度変調放射線治療）や定位放射線治療などの高精度放射線治療を主に行っていました。放射線治療は、ほとんど全てのがんが治療の対象となり、単独で行われると共に、手術や薬物療法と併用し集学的治療の一環としても活用できます。また、根治的治療から症状を抑える目的の緩和的治療まで幅広く対応しています。高精度放射線治療は、病巣部に正確に照射し、周囲の正常な臓器への影響を最小限に抑えることができ、より低侵襲な治療です。大阪市立総合医療センターでは2025年4月に新規リニアック装置の稼働が予定されておりますので、今までの経験を活かして高精度治療の適応拡大に取り組んでいくとともに、個々の患者さんが安心して治療を受けていただけるように、医師、技師、物理士、看護師などの多職種の力を結集した放射線治療を実践していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



## ● 婦人科部長

いちむら ともゆき

### 市村 友季

令和6年4月に婦人科部長に着任した市村友季と申します。私は1993年に大阪市立大学を卒業後、産婦人科に入局して研修医時代を過ごし、1995年大学院に進学しました。大学院では子宮筋腫と肉腫の研究を行い、卒業後は住友病院での勤務を経て大阪市立大学医学部附属病院で21年間勤務しました。大学病院では主に子宮筋腫の保存的管理と腹腔鏡下手術、婦人科がんの診断と治療に携わりました。

当科は手術・放射線・遺伝子検査と抗腫瘍薬治療といった一連の婦人科がん治療を実施することができます。またがんの診断において針生検による低侵襲組織診断も行っております。がん患者さんに最新の医療を受けていただくことができると考えておりますので、ぜひともご紹介をお願い申し上げます。また、これまで通り子宮筋腫や卵巣嚢腫の患者さんには鏡視下手術での低侵襲治療をご提供させていただきたいと考えておりますので引き続きよろしくお願いいたします。



## ● 小児循環器・不整脈内科部長

すぎやま ひさし

# 杉山 央

本年4月大阪市立総合医療センター小児循環器・不整脈内科部長に就任しました杉山 央です。静岡出身ですが、これまで多くの地域や多くの病院に勤務してきました。大阪へは国立循環器病研究センター勤務以来13年ぶりになります。当科の特徴は診療科の名称があらわすようにカテーテル治療・画像診断等を担当する小児循環器部門とカテーテルアブレーション等を担当する小児不整脈部門がありそれぞれ専門性を発揮して高度な医療を提供しています。当診療科は他の診療科との結びつきが強く小児心臓血管外科とともに一体化したチーム医療による最新で最善の医療を提供できるように努めています。成人期に達した複雑心疾患の患者様には循環器内科や多診療科と連携し生涯にわたり医療だけでなく社会的な問題も一緒に解決していくことができると考えています。今後ともよろしくお願い申し上げます。



## ● 皮膚科部長

まえかわ なおき

# 前川 直輝

2003年より大阪市立大学より当院に赴任し、2024年4月より皮膚科部長に昇任いたしました。皮膚悪性腫瘍指導専門医の資格を取得し、皮膚外科の分野を専門にしていました。悪性黒色腫などの皮膚悪性腫瘍の治療や、院内の患者さんの褥瘡対策の担当をしています。当院では、尋常性乾癬における生物学製剤による治療も行っています。さらに中等度、重症のアトピー性皮膚炎における全身療法の薬剤が発売され治療の選択肢が増えております。また、帯状疱疹や蜂窩織炎の入院での治療が必要な場合、速やかに対応できるようにしたいと考えております。皮膚科疾患で、入院、手術が必要な場合などは、紹介していただければと存じます。



## ● 整形外科部長

まつうら まさのり

# 松浦 正典

令和6年4月より、大阪市立総合医療センター整形外科部長に着任いたしました松浦正典と申します。整形外科は専門分野に細かく分かれており当院でも脊椎外科、関節外科、腫瘍、手、リウマチ・足、スポーツ・外傷の各グループがあり手術加療を中心にそれぞれ専門的治療を行っています。手術件数では、小児整形外科・救命救急部の外傷外科とあわせて年間2000件以上の手術を実施しています。私自身は2009年より当院整形外科副部長として股関節・膝関節を中心とした下肢関節外科を専門に診療してきました。その中でも人工関節については人工関節センターを開設し他の診療科・コメディカル等の医療スタッフと連携し併存症の多い患者さんや他院ではできないような再置換術等を積極的に行ってきました。引き続き関節外科医として手術を続けるとともに、整形外科部長として多くのスタッフ・レジデントをまとめてチーム医療を実践していくよう努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



## ● 呼吸器内科部長

まもと たかし

# 眞本 卓司

2024年4月より呼吸器内科部長に就任いたしました。前任地では急性、慢性の呼吸器疾患、肺癌治療に長く携わってまいりました。現在、当科は呼吸器疾患全般にわたる領域を診療しております。呼吸器外科や腫瘍内科はもとより、各診療科との連携を深め、さらに多様な疾患に対応できる環境を構築したいと考えております。まだまだ小さいグループではありますが、呼吸器疾患領域の診療をしっかり担い、充実させていきたいと考えております。よろしく願いいたします。

# Q ○○○って・・・どんなところなん？

## A 認知症ケアサポートチームにきました！

### Q：認知症ケアサポートチームってどんな仕事？

**A：**認知症の方は、病気による体調不良や入院による環境の変化によって、点滴を自分で抜いてしまうことや治療の途中なのに家に帰るといって怒り出すといったような、いわゆる認知症の行動・心理症状（BPSD）や、軽度の意識障害による興奮や混乱状態といった家族や医療者を悩ます状況が生まれやすくなります。その状況が長くなると、認知症が進行して元の生活に戻れない状態になりかねません。そういった症状は適切なケアと予防が第一です。認知症の方が安全に入院生活を過ごすことができるように、手助けをするのが私たち認知症ケアサポートチームの役割だと考えています。認知症ケアサポートチームは、大切な家族である高齢者の方が安全に適切な医療を受け、できるだけ早く元の生活に戻れるように現場のスタッフのサポートをしているチームです。



## お薬豆知識



### ●●薬の使用期限について●●

薬の使用期限は、一般に有効成分が基準の90%以上あるものを規格内としており、それを保てる期間です。

これはあくまでも未開封、未使用の状態、規定された条件（温度、遮光など）での有効期限になりますので、開封した薬などは使用期限内であっても早めに使用にするようにしましょう。

市販薬の開封後の安定性については、薬剤の種類によっても異なります。点眼薬であれば、一部を除いて通常開封後1ヶ月であり、また軟膏などは明確な規定はありませんが、通常6カ月以内に使用するのが良いでしょう※。

説明書に記載された保管方法で保管し、開封後はできるだけ速やかに使用するようにしましょう。

医師から処方された薬はその時に診察した体の状況に応じて処方された薬であり、基本はその時の治療に適切な日数あるいは本数が処方されており、飲み終わる（使い終わる）時がその薬の使用期限です。処方医は飲み切った前提で治療効果を判定し、薬の投与量の変更や薬剤の変更を行う場合もありますので、飲んだり飲まなかったりすることは適切ではありません。残った薬剤は症状が似ているからといって残っている薬を他人に譲り渡さないようにし、速やかに廃棄するようにしてください。

判断に迷った場合は、主治医または薬剤師に相談するようにしましょう。

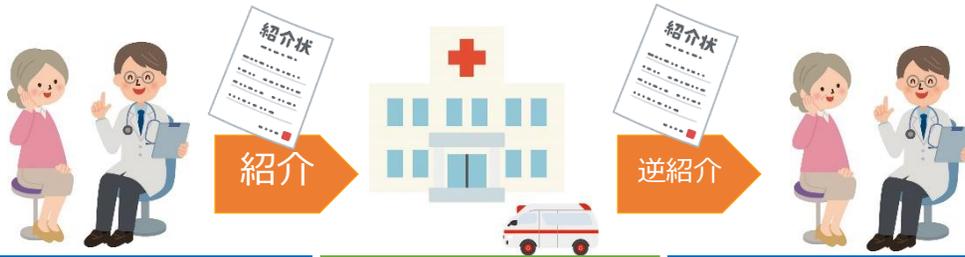
大阪市立総合医療センター

薬剤部 佐々木 剛



# 連携登録医のご紹介

かかりつけ医とは、病気になったときなどにすぐに相談できる地域にある医院やクリニック、診療所などのお医者さんです。日常的に相談でき、緊急の場合にも対処してくれるかかりつけ医をもちましょう。



日常の診療・健康管理はかかりつけ医で

専門的な検査・治療は当院で

病状が安定したら再びかかりつけ医で

## 天神橋ゆかこレディースクリニック

院長 南 裕佳子

診療科 産婦人科

住所 大阪市北区天神橋6丁目6-11

エレガントビル大阪2F

電話 06-6314-6651



南院長

### 院長あいさつ

女性は一生のうちに、女性ホルモンの変動に伴って、思春期・性成熟期・更年期・老年期の4つのライフステージを経験します。そのたびに悩み事や心配事がでてくるでしょう。周囲の方にどう説明していいのか戸惑うこともあるかもしれません。そういう時こそ、一番身近に感じていただける女性専門のホームドクターとして、あらゆる年代の女性が安心して良質な医療を受けられるようにベストを尽くします。

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:30~13:00)	○	○	○	○	○	○
午後 (15:00~18:00)	○	○	×	○	○	×

## みずのクリニック

院長 水野 龍義

診療科 内科、消化器内科、血液内科

住所 大阪市北区本庄東2-10-21

メゾンドアヴェルIV 1階

電話 06-6459-7680



水野院長

### 院長あいさつ

当院は2018年4月に開院し、内科全般・消化器内科を中心に年齢・病気を問わず、幅広く診療しています。これまで麻酔科、救急科、小児科および内科全般の研修を受け、患者さんの一生に寄り添う診療がしたいという思いでお子様から御年配の方まで、何でも気軽に相談ができ、この地域の方々の健康を維持するお手伝いがしたいと、日々診療しております。患者様が少しでも安楽に検査を受けていただけるように鎮静剤を使った胃カメラ・大腸カメラ、また下剤を飲まない大腸カメラを導入し、また、様々な疾患に対応するため、即日検査ができる体制を整えて、丁寧で分かりやすい説明を心掛けております。まずは、お気軽にご来院ください。

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○
午後 (13:00~20:00)	○	○	○	○	○	×

※月～金13:00～17:00 (胃カメラ・大腸カメラ) 予約検査あり

## 南森町ふくしま内科・循環器内科

院長 福島 立也

診療科 一般内科・循環器内科・糖尿病内科  
小児科・アレルギー科内科

住所 大阪市北区天神橋2丁目1-29

レクシア大阪天満宮3F

電話 06-6379-5530



福島院長

### 院長あいさつ

2024年1月16日開院しました。今後は私が育った北区で地域の皆様の健やかな日々を少しでも医療の観点からサポートできるよう、日々努めて参ります。どんな些細な健康上のお悩みも相談してよかったと思っただけのようなクリニックを目指して精進して参ります。皆様、何卒宜しくお願い申し上げます。

外来	月	火	水	木	金	土	日
午前 (8:45~12:30)	○	○	×	○	○	○	○
午後 (14:30~18:20)	○	★	×	○	○	▲	×

▲ 14:30~18:00

★ 15:00~17:00は女性医師の診察あり (糖尿病専門医)

# 迷ったら ! 簡単レシピ

●●● 栄養部 中村佳菜

管理栄養士が、簡単にできる栄養バランスのレシピを紹介。おいしく健康なカラダづくりをしましょう

## 秋の味覚でボリュームアップ!

#06

### 豆腐のきのこあんかけ

所要時間：15分

栄養価 (1人分)  
エネルギー：115kcal  
たんぱく質：9.5g  
脂質：4.8g 炭水化物：12.0g  
塩分：1.0g 食物繊維：4.1g



### ポイント

「食欲の秋」とも言われる秋はおいしい食べ物が出まわり、つい食べ過ぎてしまうことはありませんか？秋の旬である「きのこ」は低カロリーで食物繊維が豊富です。かさ増し効果があるだけでなく、カルシウムの吸収促進・骨の成長促進・免疫機能を調節する働きがあるビタミンDを多く含む栄養価が満点です。満足感をUPさせて食べ過ぎを防止しましょう。

### 材料 (1人分)

- ★しいたけ・・・1個 (15g)
- ★しめじ・・・1/5パック (20g)
- ★まいたけ・・・1/5パック (20g)
- ★えのき・・・1/5袋 (20g)
- めんつゆ (2倍濃縮)・・・大さじ1
- 水・・・大さじ1
- 水溶性片栗粉  
水・・・大さじ1
- 片栗粉・・・小さじ1/2
- 豆腐・・・130g (3個パックの1つ)
- 青ねぎ (お好みで)



### つくりかた

- ★の材料を食べやすい大きさに切る。
- フライパンに①とめんつゆ、水を入れ煮立たせる。
- 沸騰してきたら3分間煮る。
- ③に水溶性片栗粉を入れ、とろみが付くまで加熱する。
- 豆腐をお皿に盛り、④と青ねぎをかけたら完成。

今回のレシピでは豆腐を使用しましたが、秋鮭などどんな食材にかけてもおいしくいただけます。

●外来にて、栄養相談・栄養指導行っています。ご希望される方は主治医へご相談ください。

## information

### 市民公開ダイアベティス (糖尿病) ゼミナール2024

開催日 令和6年11月7日 (木) 13:00~16:00  
場所 大阪市立総合医療センター さくらホール

●市民向け講演会の案内です。当院ホームページで公開しております。詳しくは該当ページにてご確認ください。

大阪市立総合医療センター

検索

### 患者さんの権利

- 個人の尊厳を重視した安全で良質な医療を平等に受ける権利があります。
- 自分の医療に関する情報を理解できる言葉や方法で十分に提供された後、意見を述べるなど治療計画に参加し、自分の意思に基づいて医療行為を選択する権利があります。
- 自分の受ける医療について、知る権利ならびに診療情報の開示を求める権利があります。
- 診療に関する個人情報、診療目的以外に使用されないよう厳密に保護されます。
- プライバシーに配慮した医療の提供を受ける権利があります。自分の病気に関する説明、診断などを他の医療機関からも受ける権利があります。

### 読者アンケートのお願い



今後のよりよい広報誌づくりのため、次のアンケートフォームより皆さまのご意見をお聞かせください。

<https://forms.gle/Z32dQdMatPcTn7Sh7>

■発行責任者：大阪市立総合医療センター  
地域医療連携室

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22  
<http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/>

